福知山市 地域福祉に関するアンケート調査 調査結果報告書

平成 29 年 3 月 福 知 山 市

目 次

Ι	調査の概要1
1	調査の目的1
2	調査対象1
3	調査期間 1
4	調査方法 1
5	回収状況 1
6	調査結果の表示方法 2
п	調査結果3
1	回答者属性3
2	お住いの地域について 7
3	地域での助け合いについて 21
4	地域福祉を支える組織や制度について30
5	災害について 33
6	地域福祉の推進について 38
Ш	参考資料48
1	アンケート調査用紙 48
2	福知山市地域祉計画策定委員会設置要綱60
3	福知山市地域福祉計画策定委員会委員名簿

I 調査の概要

1 調査の目的

第3次地域福祉計画の策定に先立ち、市民の方に地域福祉について、日常生活の現状や意識、福祉サービスや地域づくりに関する意見などをお聞きし、計画策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

福知山市在住の20歳以上の方の中から年代別に合計2,000人を無作為抽出

※ 配布数について

本調査を実施するにあたり、高精度の調査を実施するための必要なサンプリング数を導き出しま した。

高精度の調査を実施するためには、一般的に標本誤差率は $1\sim10\%$ 、信頼水準は $90\sim99\%$ の範囲で設定されます。

本調査では、標本誤差率 5 %以内、信頼水準 95%以上とし、サンプリング数を算出すると、概ね 600 標本の回収が必要となります。有効回収率を本市で実施している調査の傾向からみると、概ね 30%となっていることから、600 標本を回収するために必要な配布数を 2,000 としました。

3 調査期間

平成29年1月26日から平成29年2月6日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
2,000 通	930 通	46.5%

【年代別】

年代	配布数	有効回答数	有効回答率
20 歳代	300 通	75 通	25.0%
30 歳代	300 通	85 通	28.3%
40 歳代	300 通	109 通	36.3%
50 歳代	300 通	150 通	50.0%
60 歳代	300 通	177 通	59.0%
70 歳以上	500 通	328 通	65.6%

6 調査結果の表示方法

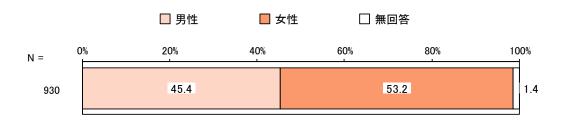
- ・回答は各質問の回答者数 (N) を基数とした百分率 (%) で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計 (全体)の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組 み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成する ことにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを で網 かけをしています。(無回答を除く)

Ⅱ 調査結果

1 回答者属性

F 1 あなたの性別はどちらですか。(Oは1つ)

「男性」の割合が45.4%、「女性」の割合が53.2%となっています。



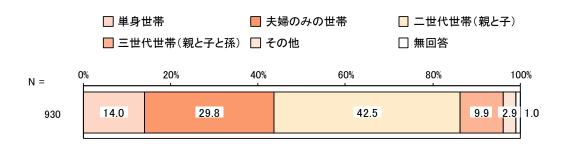
F2 あなたの年齢はおいくつですか。(Oは1つ)

「70 歳以上」の割合が 35.3%と最も高く、次いで「60 歳代」の割合が 19.0%、「50 歳代」の割合が 16.1%となっています。



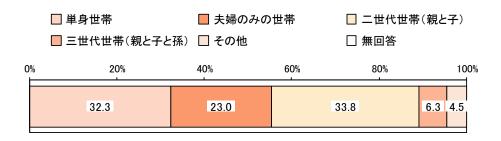
F3 あなたの世帯構成は次のうちどれですか。(Oは1つ)

「二世代世帯(親と子)」の割合が42.5%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」の割合が29.8%、「単身世帯」の割合が14.0%となっています。



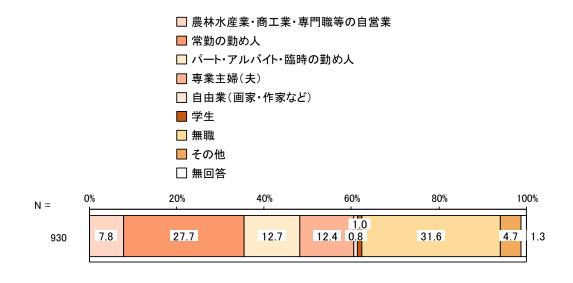
国勢調査 (平成27年)

平成 27 年国勢調査の結果をみると、「二世代世帯 (親と子)」の割合が 33.8%と最も高く、次いで「単身世帯」の割合が 32.3%、「夫婦のみの世帯」の割合が 23.0%となっています。



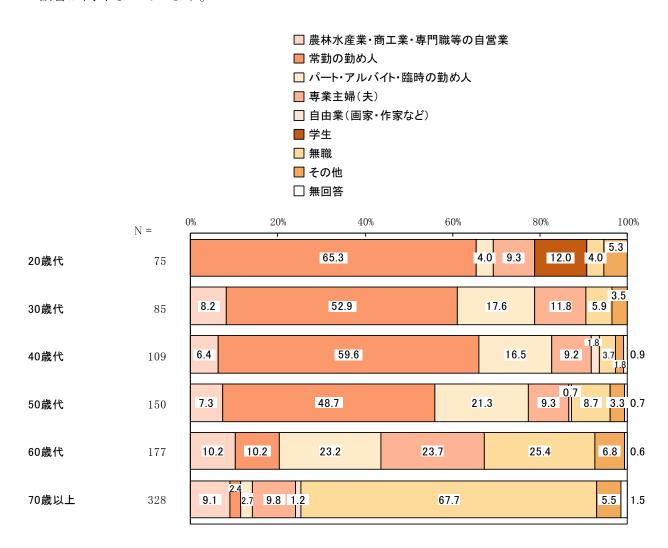
F 4 あなたの職業は次のうちどれですか。(Oは1つ)

「無職」の割合が31.6%と最も高く、次いで「常勤の勤め人」の割合が27.7%、「パート・アルバイト・臨時の勤め人」の割合が12.7%となっています。



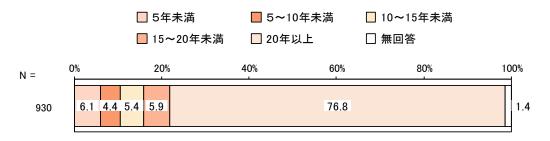
【年代別】

年代別でみると、20歳代で「常勤の勤め人」、60歳代で「専業主婦(夫)」、70歳以上で「無職」 の割合が高くなっています。



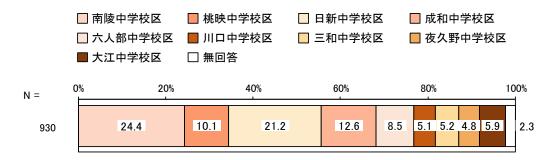
F5 あなたの福知山市(旧三和町、旧夜久野町、旧大江町を含む)での居住年数はどの くらいですか。(〇は1つ)

「20年以上」の割合が76.8%と最も高くなっています。



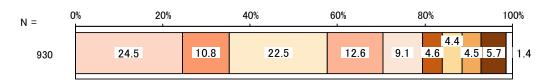
F6 あなたの居住地区はどちらですか。(Oは1つ)

「南陵中学校区」の割合が 24.4%と最も高く、次いで「日新中学校区」の割合が 21.2%、「成和中学校区」の割合が 12.6%となっています。



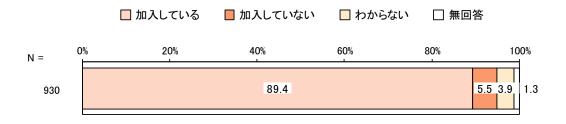
居住地区別構成比

市統計(行政区別人口世帯集計表)による居住地区別構成比は、以下の通りです。



F7 あなたは自治会に加入していますか。(Oは1つ)

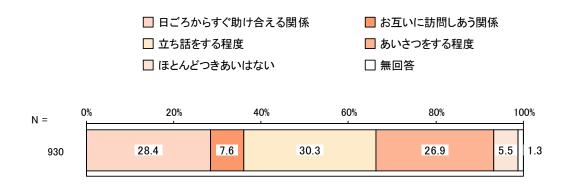
「加入している」の割合が89.4%と最も高くなっています。



2 お住いの地域について

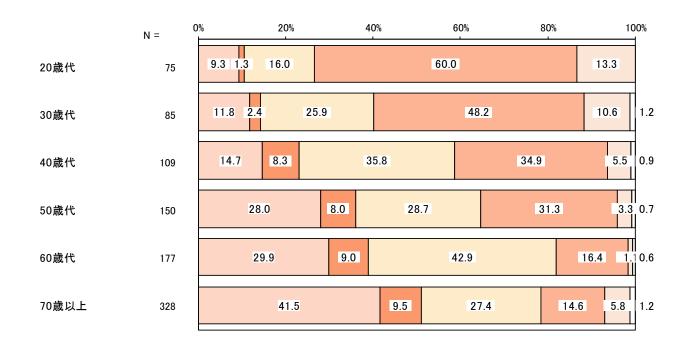
問1 あなたと隣近所とのつきあいはどの程度ですか。(〇は1つ)

「立ち話をする程度」の割合が 30.3%と最も高く、次いで「日ごろからすぐ助け合える関係」の割合が 28.4%、「あいさつをする程度」の割合が 26.9%となっています。



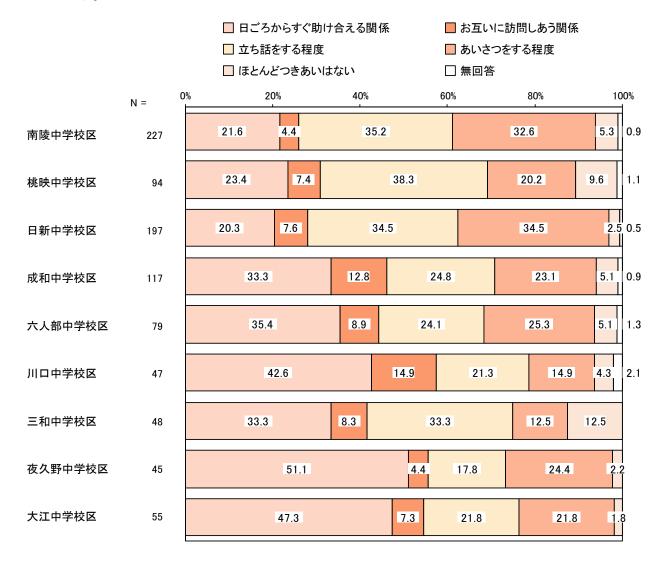
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれて「日ごろからすぐ助け合える関係」の割合が高くなっています。



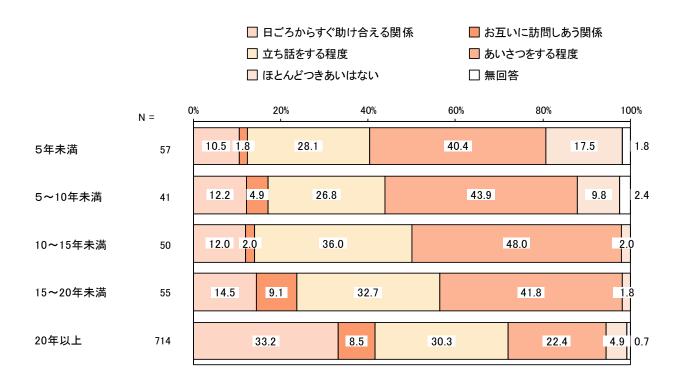
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、夜久野中学校区で「日ごろからすぐ助け合える関係」の割合が高くなっています。また、南陵中学校区、日新中学校区で「あいさつをする程度」の割合が高くなっています。



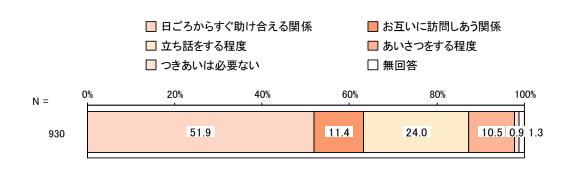
【居住年数別】

居住年数別でみると、居住年数が長くなるにつれて「日ごろからすぐ助け合える関係」の割合が高くなる傾向がみられます。また、5年未満で「ほとんどつきあいはない」の割合が高くなっています。



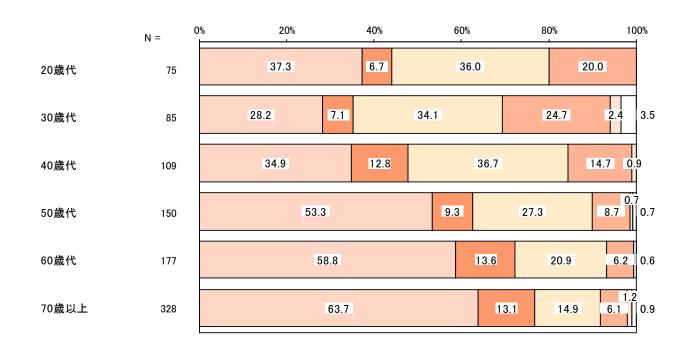
問2 住みよいまちづくりに向けて、あなたはどの程度の近所づきあいが必要だと思いますか。(Oは1つ)

「日ごろからすぐ助け合える関係」の割合が51.9%と最も高く、次いで「立ち話をする程度」の割合が24.0%、「お互いに訪問しあう関係」の割合が11.4%となっています。



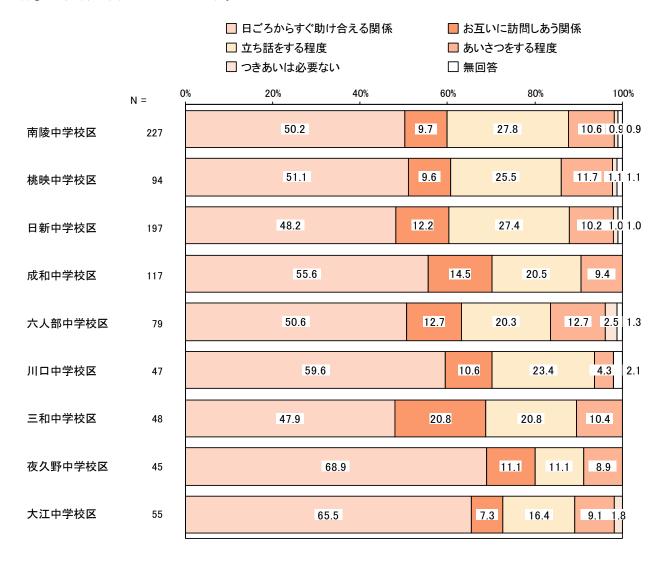
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれて「日ごろからすぐ助け合える関係」の割合が高くなる傾向がみられます。



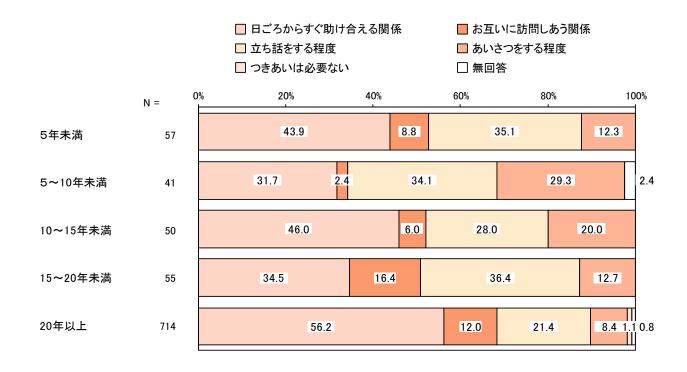
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、夜久野中学校区、大江中学校区で「日ごろからすぐ助け合える関係」の割合が高くなっています。



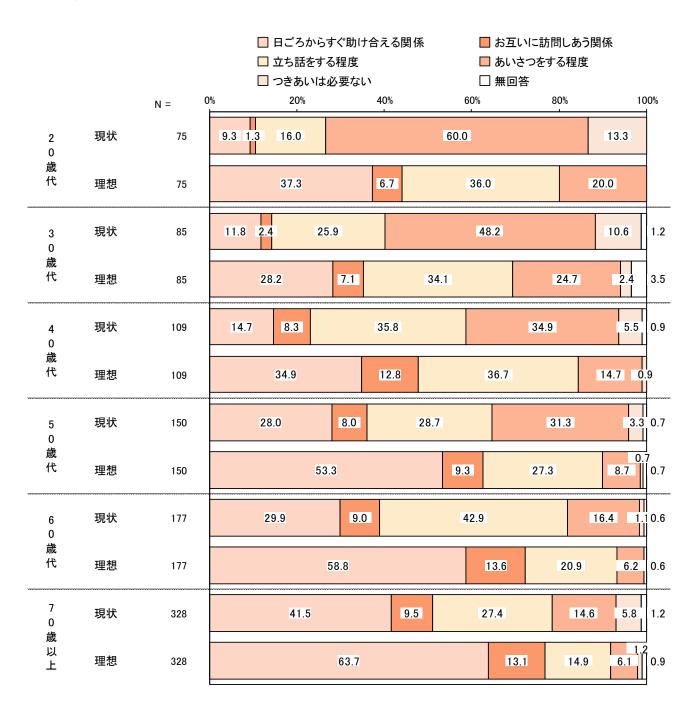
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、20年以上で「日ごろからすぐ助け合える関係」の割合が高くなっています。また、 $5\sim10$ 年未満で「あいさつをする程度」の割合が高くなっています。



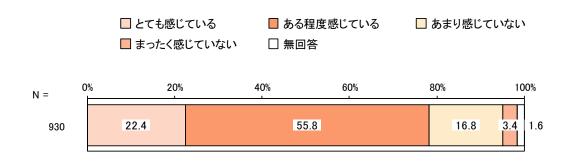
【近所づきあいの現状と理想】

近所づきあいの現状と理想をみると、どの年代も理想では「日ごろからすぐ助け合える関係」 の割合が高くなっていますが、理想に比べ現状では「あいさつをする程度」の割合が高くなって います



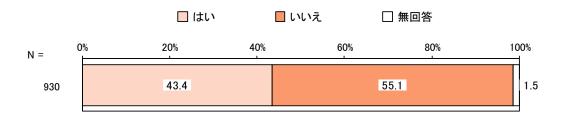
問3 現在お住まいの地区に愛着や誇りを感じていますか。(Oは1つ)

「とても感じている」と「ある程度感じている」をあわせた"感じている"の割合が 78.2%、「あまり感じていない」と「まったく感じていない」をあわせた"感じていない"の割合が 20.2% となっています。



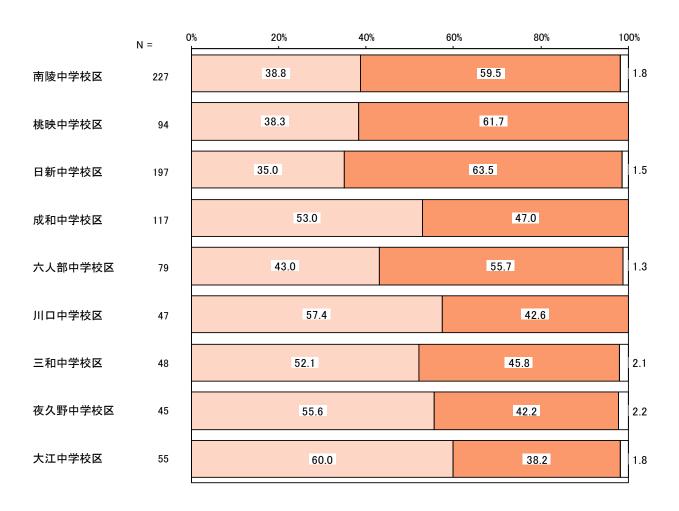
問4 地域で活動を行う組織・団体に加入していますか。(〇は1つ)

「はい」の割合が43.4%、「いいえ」の割合が55.1%となっています。



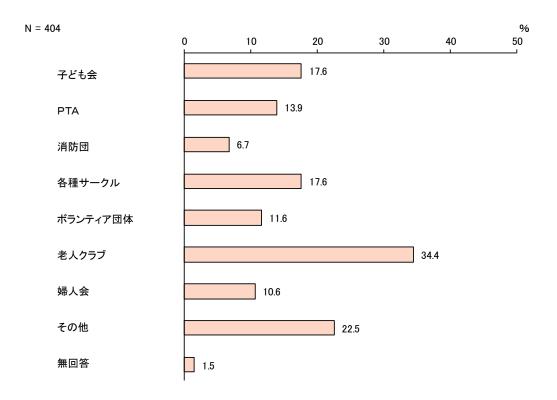
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、成和中学校区、川口中学校区、三和中学校区、夜久野中学校区、大江中学校区で「はい」の割合が高くなっています。



問4で「1. はい」と回答した方におうかがいします。 問4-1 加入している組織・団体は何ですか。(該当するものすべてに〇)

「老人クラブ」の割合が 34.4%と最も高く、次いで「子ども会」、「各種サークル」の割合が 17.6%となっています。



【年代別】

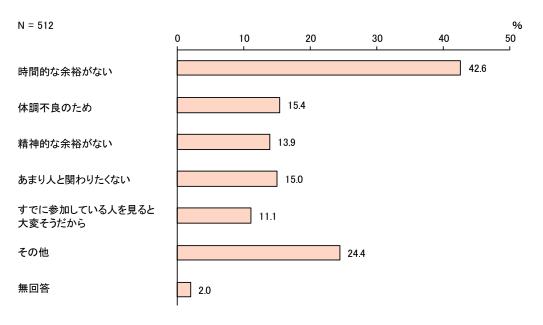
年代別でみると、他に比べ、20歳代で「消防団」、30歳代で「子ども会」、70歳以上で「老人クラブ」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	有効回答数(件)	子ども会	P T A	消防団	各種サークル	ボランティア団体	老人クラブ	婦人会	その他	無回答
20 歳代	6	16. 7	16.7	50.0	33. 3	16. 7		_	_	_
30 歳代	28	82. 1	50.0	14. 3	3.6	3. 6	I	7. 1	3. 6	
40 歳代	59	61.0	55.9	25. 4	6.8			3. 4	15. 3	_
50 歳代	49	10. 2	12. 2	6. 1	10.2	12. 2		22. 4	49. 0	2.0
60 歳代	73	1.4		1.4	28.8	20. 5	8.2	23. 3	37. 0	1.4
70 歳以上	186	2.7	1. 1	0.5	19.9	12. 9	70. 4	5. 9	16. 1	2. 2

問4で「2. いいえ」と回答した方におうかがいします。 問4-2 加入していない理由は何ですか。(該当するものすべてに〇)

「時間的な余裕がない」の割合が42.6%と最も高く、次いで「体調不良のため」の割合が15.4%、「あまり人と関わりたくない」の割合が15.0%となっています。



【年代別】

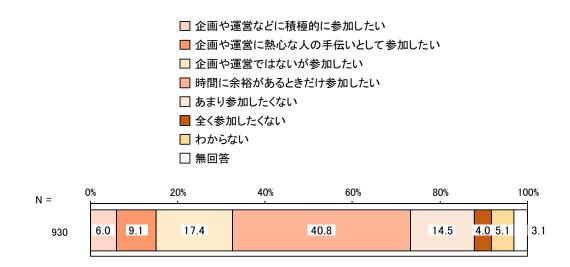
年代別でみると、他に比べ、70歳以上で「体調不良のため」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	有効回答数(件)	い時間的な余裕がな	体調不良のため	い 精神的な余裕がな	たくないあまり人と関わり	そうだからる人を見ると大変すでに参加してい	その他	無回答
20 歳代	69	59. 4	1. 4	13. 0	14. 5	11.6	29. 0	1. 4
30 歳代	57	59. 6	1.8	15.8	15.8	7. 0	28. 1	
40 歳代	49	61. 2	2. 0	18. 4	22. 4	16. 3	24. 5	_
50 歳代	99	57. 6	5. 1	15. 2	10. 1	10. 1	25. 3	1.0
60 歳代	100	36. 0	17. 0	19. 0	11.0	12.0	23.0	4.0
70 歳以上	135	14.8	38. 5	6. 7	19. 3	11. 1	21.5	2. 2

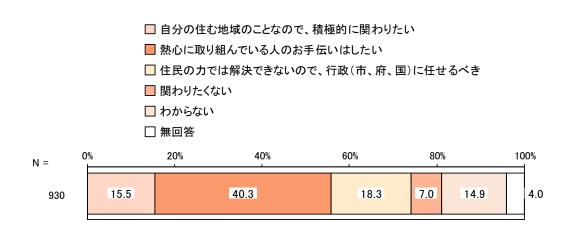
問5 地域で行う行事や、組織・団体の活動には、どの程度参加したいですか。 (〇は1つ)

「時間に余裕があるときだけ参加したい」の割合が 40.8%と最も高く、次いで「企画や運営ではないが参加したい」の割合が 17.4%、「あまり参加したくない」の割合が 14.5%となっています。



問6 自分たちの生活に関わる地域の問題に、あなた自身はどの程度関わるべきだと思いますか。(Oは1つ)

「熱心に取り組んでいる人のお手伝いはしたい」の割合が 40.3%と最も高く、次いで「住民の力では解決できないので、行政(市、府、国)に任せるべき」の割合が 18.3%、「自分の住む地域のことなので、積極的に関わりたい」の割合が 15.5%となっています。



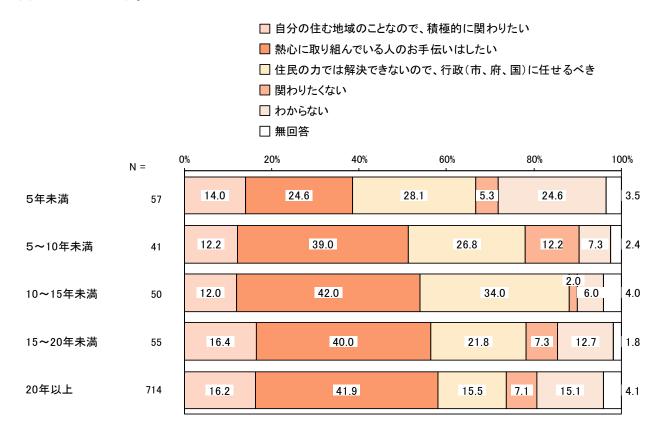
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、60歳代で「熱心に取り組んでいる人のお手伝いはしたい」の割合が高くなっています。また、20歳代で「わからない」の割合が高くなっています。



【居住年数別】

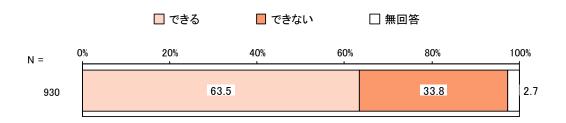
居住年数別でみると、他に比べ、10~15年未満で「住民の力では解決できないので、行政(市、府、国)に任せるべき」の割合が高くなっています。また、5年未満で「わからない」の割合が高くなっています。



3 地域での助け合いについて

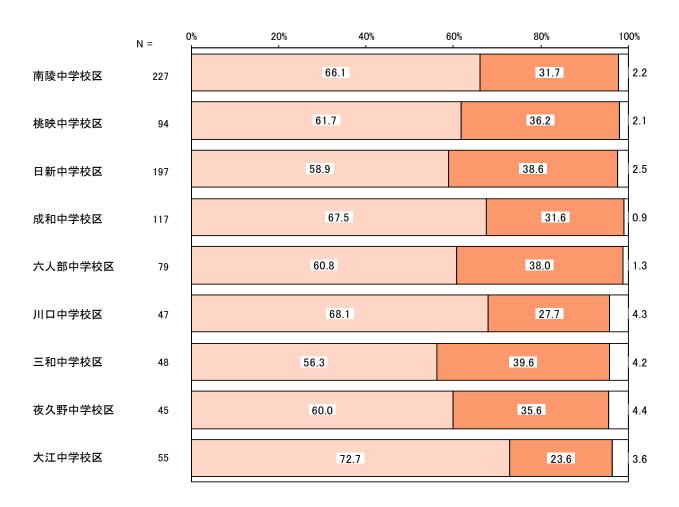
問7 あなたは、地域で困っている人がいた場合に、手助けや助け合いをすることができますか。(Oは1つ)

「できる」の割合が63.5%、「できない」の割合が33.8%となっています。



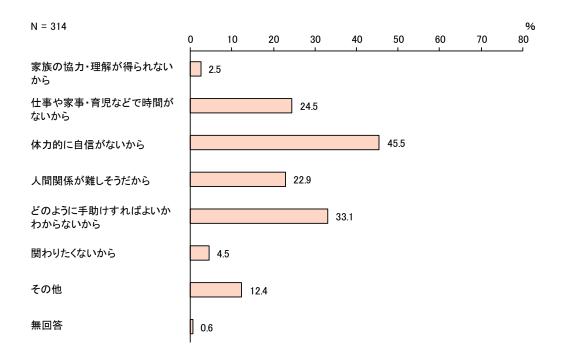
【地区別】

地区別でみると、他に比べ、南陵中学校区、成和中学校区、川口中学校区、大江中学校区で「できる」の割合が高くなっています。



問7で「2. できない」と回答した方におうかがいします。 問7-1 地域での手助けや助け合いができない理由は何ですか。(〇は3つまで)

「体力的に自信がないから」の割合が45.5%と最も高く、次いで「どのように手助けすればよいかわからないから」の割合が33.1%、「仕事や家事・育児などで時間がないから」の割合が24.5%となっています。



【年代別】

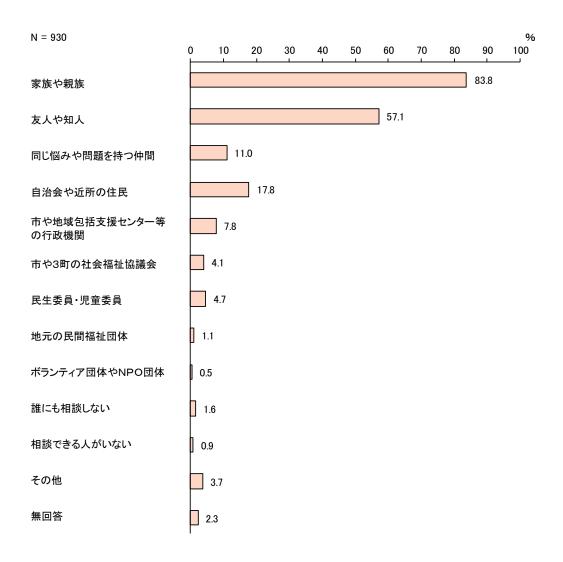
年代別でみると、他に比べ、40歳代で「仕事や家事・育児などで時間がないから」の割合が、70歳以上で「体力的に自信がないから」の割合が高くなっています。また、年代が低くなるにつれて「どのように手助けすればよいかわからないから」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位:%

区分	有効回答数(件)	得られないから家族の協力・理解が	どで時間がないから仕事や家事・育児な	から体力的に自信がない	だから	いから ればよいかわからな どのように手助けす	関わりたくないから	その他	無回答
20 歳代	21	1	33. 3	14. 3	47.6	57. 1	4.8	19. 0	
30 歳代	23	4. 3	47.8	21.7	34.8	52. 2	4. 3	4. 3	
40 歳代	36	2.8	52.8	8. 3	27.8	52.8	2.8	13. 9	
50 歳代	51	5. 9	45. 1	23. 5	21.6	47. 1	2.0	7.8	_
60 歳代	40	5. 0	15. 0	42.5	30.0	37. 5	7. 5	10.0	
70 歳以上	139	0. 7	7. 2	74. 1	15. 1	13. 7	5. 0	14. 4	1. 4

問8 あなたは生活上の心配事や困り事について助言や手助けが欲しいときに誰に相談 していますか。(〇は3つまで)

「家族や親族」の割合が83.8%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が57.1%、「自治会や近所の住民」の割合が17.8%となっています。



【年代別】

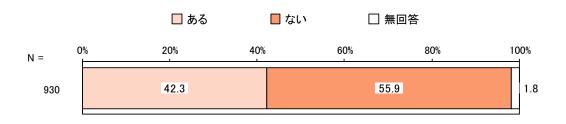
年代別でみると、すべての年代で「家族や親族」の割合が高くなっています。また、年代が低くなるにつれて「友人や知人」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	有効回答数(件)	家族や親族	友人や知人	同じ悩みや問題を持つ仲間	自治会や近所の住民	等の行政機関市や地域包括支援センター	市や3町の社会福祉協議会	氏生素員・児童素員	地元の民間福祉団体	団体 ボランティア団体やNPO	誰にも相談しない	相談できる人がいない	その他	無回答
20 歳代	75	85.3	81.3	22. 7	2. 7	2. 7	_	_	_	_	2.7	_	4.0	1. 3
30 歳代	85	95. 3	75.3	14. 1	9.4	5. 9	ı			1. 2		1. 2	3. 5	_
40 歳代	109	83.5	67.0	9. 2	9. 2	4. 6				0. 9	1.8	1.8	2.8	5. 5
50 歳代	150	78.7	65.3	5. 3	22.0	6. 0	2. 7	1. 3	2.0		1. 3	1. 3	4.0	2. 7
60 歳代	177	82. 5	57.6	9. 6	20.3	9. 6	4.0	2.8	0.6	0.6	1. 7	1. 1	4.0	0.6
70 歳以上	328	83.8	40.2	11.0	23. 2	10.7	8.2	11.0	1.8	0.6	1.8	_	3. 7	2. 4

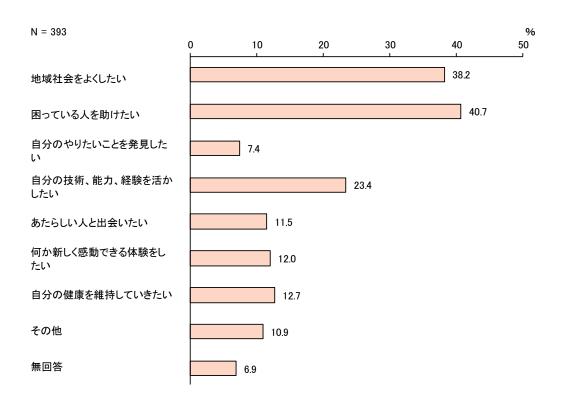
問9 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。(Oは1つ)

「ある」の割合が42.3%、「ない」の割合が55.9%となっています。



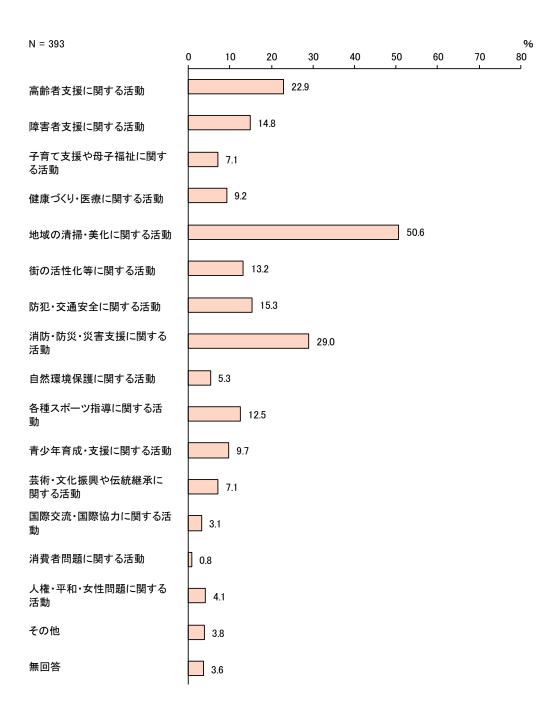
問9で「1. ある」と回答した方におうかがいします。 問9-1 どのようなことが動機でしたか。(該当するものすべてにO)

「困っている人を助けたい」の割合が 40.7%と最も高く、次いで「地域社会をよくしたい」の割合が 38.2%、「自分の技術、能力、経験を活かしたい」の割合が 23.4%となっています。



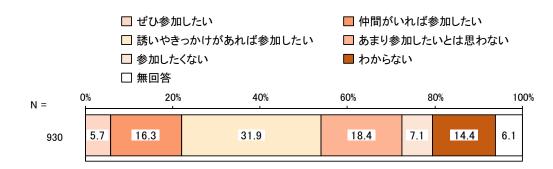
問9-2 現在活動している、もしくは以前に活動したことのあるボランティアはどのような内容でしたか。(該当するものすべてにO)

「地域の清掃・美化に関する活動」の割合が50.6%と最も高く、次いで「消防・防災・災害支援に関する活動」の割合が29.0%、「高齢者支援に関する活動」の割合が22.9%となっています。



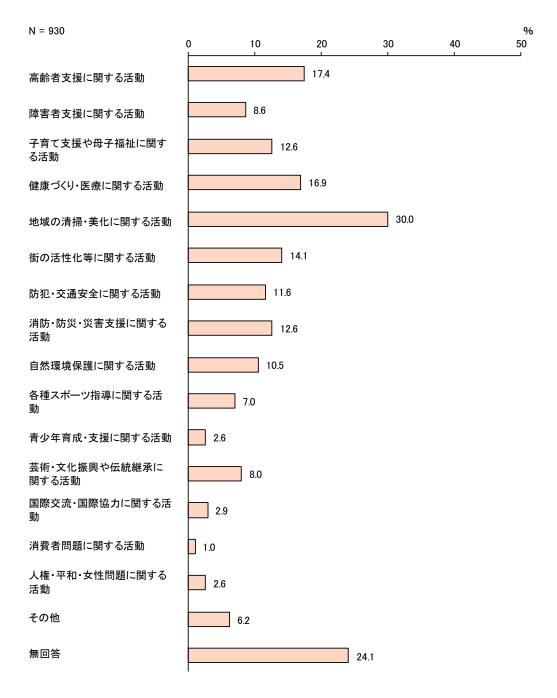
問 10 あなたは今後ボランティア活動や助け合い活動に参加したいと思いますか。 (〇は1つ)

「誘いやきっかけがあれば参加したい」の割合が31.9%と最も高く、次いで「あまり参加したいとは思わない」の割合が18.4%、「仲間がいれば参加したい」の割合が16.3%となっています。



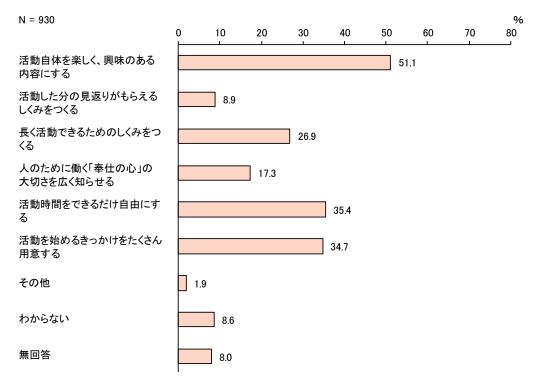
問 11 ボランティア活動や助け合い活動で参加したい活動はありますか。 (該当するものすべてに〇)

「地域の清掃・美化に関する活動」の割合が30.0%と最も高く、次いで「高齢者支援に関する活動」の割合が17.4%、「健康づくり・医療に関する活動」の割合が16.9%となっています。



問 12 たくさんの人にボランティア活動や助け合い活動に参加してもらうためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「活動自体を楽しく、興味のある内容にする」の割合が 51.1%と最も高く、次いで「活動時間をできるだけ自由にする」の割合が 35.4%、「活動を始めるきっかけをたくさん用意する」の割合が 34.7%となっています。



【年代別】

年代別でみると、すべての年代で「活動自体を楽しく、興味のある内容にする」の割合が高くなっています。また、年代が低くなるにつれて「活動時間をできるだけ自由にする」の割合が高くなる傾向がみられます。

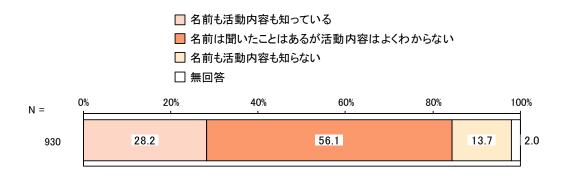
単位:%

区分	有効回答数(件)	ある内容にする。現味の	えるしくみをつくる活動した分の見返りがもら	みをつくる長く活動できるためのしく	の大切さを広く知らせる人のために働く「奉仕の心」	にするにするだけ自由	くさん用意する 活動を始めるきっかけをた	その他	わからない	無回答
20 歳代	75	52.0	21. 3	21.3	10.7	48.0	40.0	4. 0	4.0	1. 3
30 歳代	85	67.1	17. 6	21.2	3. 5	43. 5	50.6	1. 2	7. 1	_
40 歳代	109	52.3	14. 7	28. 4	7. 3	36. 7	45.0	1.8	7.3	5. 5
50 歳代	150	49.3	11.3	28. 7	10. 7	35. 3	44.7	2. 7	8.7	1. 3
60 歳代	177	46. 9	6. 2	33. 3	19.8	36. 7	33. 9	2. 3	10.2	7. 9
70 歳以上	328	49.7	2. 1	25. 0	27. 4	29. 9	22.6	1. 2	9.5	14. 9

4 地域福祉を支える組織や制度について

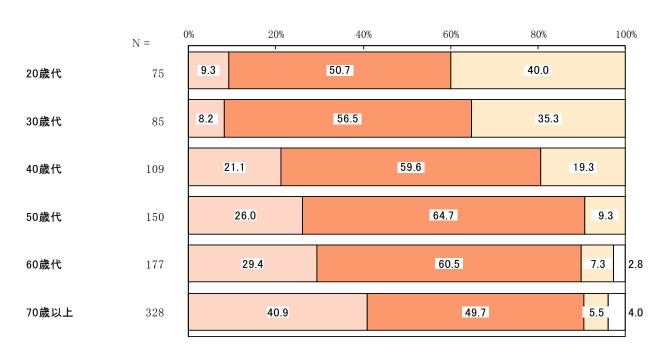
問13 福知山市社会福祉協議会をご存知ですか。(〇は1つ)

「名前は聞いたことはあるが活動内容はよくわからない」の割合が 56.1%と最も高く、次いで「名前も活動内容も知っている」の割合が 28.2%、「名前も活動内容も知らない」の割合が 13.7% となっています。



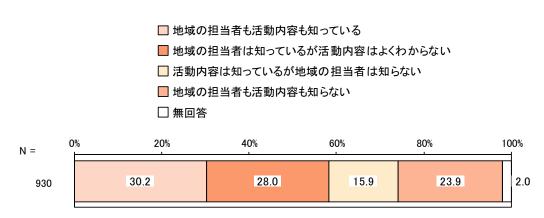
【年代別】

年代別でみると、年齢が高くなるにつれて「名前も活動内容も知っている」の割合が高くなっています。



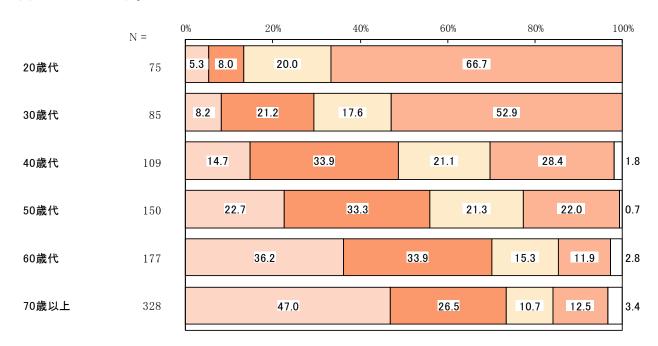
問 14 あなたがお住まいの地域の民生委員·児童委員をご存知ですか。(Oは 1 つ)

「地域の担当者も活動内容も知っている」の割合が30.2%と最も高く、次いで「地域の担当者は知っているが活動内容はよくわからない」の割合が28.0%、「地域の担当者も活動内容も知らない」の割合が23.9%となっています。



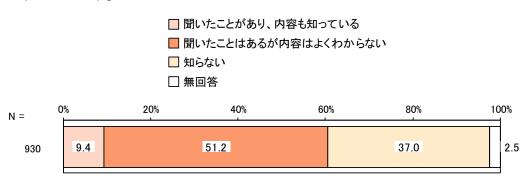
【年代別】

年代別でみると、年齢が高くなるにつれて「地域の担当者も活動内容も知っている」の割合が高くなっています。



問 15 生活困窮者自立支援法(制度)について、どの程度知っていますか。 (〇は1つ)

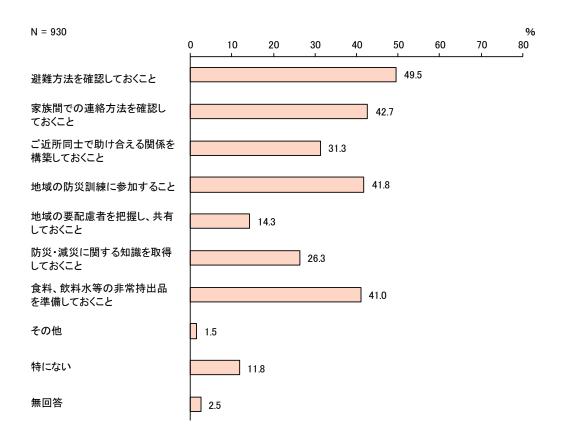
「聞いたことはあるが内容はよくわからない」の割合が 51.2% と最も高く、次いで「知らない」の割合が 37.0% となっています。



5 災害について

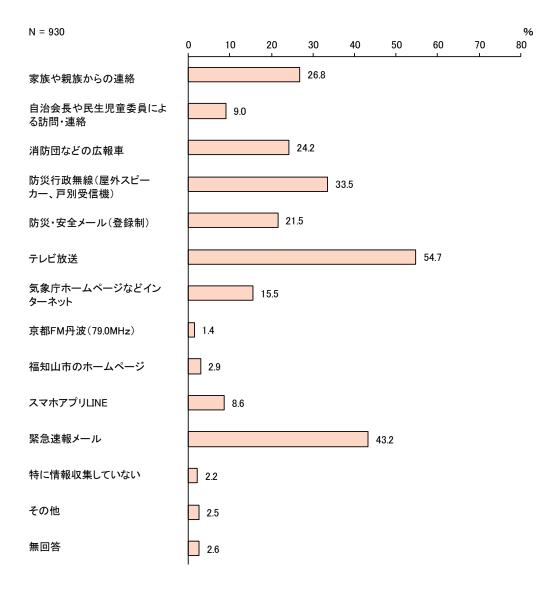
問 16 平成 25 年台風 18 号、平成 26 年 8 月豪雨災害において、本市では甚大な被害を受けましたが、水害などの災害に備えて日ごろの生活の中で心がけたり、実施していることはありますか。(該当するものすべてに〇)

「避難方法を確認しておくこと」の割合が 49.5%と最も高く、次いで「家族間での連絡方法を確認しておくこと」の割合が 42.7%、「地域の防災訓練に参加すること」の割合が 41.8%となっています。



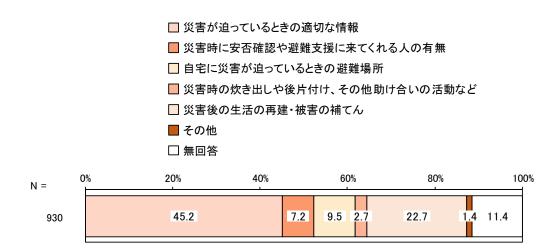
問 17 平成 25 年台風 18 号、平成 26 年 8 月豪雨災害の当時やそれ以降、大雨時や台風接 近時など、どのような手段で避難情報等を知りましたか。(該当するものすべてに〇)

「テレビ放送」の割合が54.7%と最も高く、次いで「緊急速報メール」の割合が43.2%、「防災行政無線(屋外スピーカー、戸別受信機)」の割合が33.5%となっています。



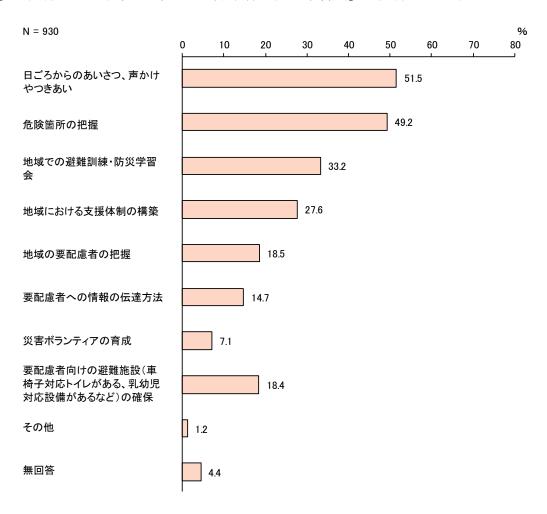
問 18 災害が起こった時に特に不安に思うことはどれですか。(Oは1つ)

「災害が迫っているときの適切な情報」の割合が 45.2%と最も高く、次いで「災害後の生活の再建・被害の補てん」の割合が 22.7%となっています。



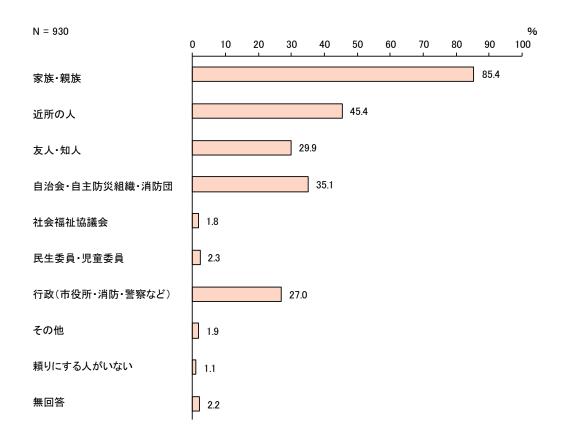
問 19 あなたの住む地域における災害時の備えとして、どのようなことが重要だと思いますか。(〇は3つまで)

「日ごろからのあいさつ、声かけやつきあい」の割合が 51.5%と最も高く、次いで「危険箇所の把握」の割合が 49.2%、「地域での避難訓練・防災学習会」の割合が 33.2%となっています。



問 20 災害が起きた時、あなたは誰を頼りにしますか。(Oは3つまで)

「家族・親族」の割合が85.4%と最も高く、次いで「近所の人」の割合が45.4%、「自治会・自主防災組織・消防団」の割合が35.1%となっています。



【年代別】

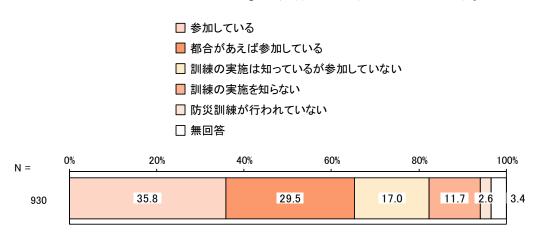
年代別でみると、すべての年代で「家族・親族」の割合が高くなっています。また、年代が高くなるにつれて「自治会・自主防災組織・消防団」の割合が高くなっています。

単位:%

区分	有効回答数(件)	家族・親族	近所の人	友人・知人	織•消防団 自治会•自主防災組	社会福祉協議会	民生委員・児童委員	警察など)	その他	頼りにする人がいない	無回答
20 歳代	75	84. 0	30. 7	48.0	10.7	1. 3	2.7	22.7	4.0	4.0	1. 3
30 歳代	85	94. 1	38.8	54. 1	17.6			28. 2	2.4		1. 2
40 歳代	109	89. 9	33. 0	45. 9	21. 1	0.9		28. 4	1.8	0.9	2.8
50 歳代	150	83. 3	44. 7	36. 0	32. 7		1.3	26. 7	2.0	1.3	_
60 歳代	177	88. 1	45. 2	20.9	45. 2	1. 7	1. 1	33. 3	1. 1	1. 1	1. 1
70 歳以上	328	81. 4	54. 6	16. 2	45. 7	3. 4	4. 6	24. 1	1.8	0.6	4. 0

問 21 あなたは、日頃から地域の防災訓練等に参加していますか。(Oは 1 つ)

「参加している」の割合が35.8%と最も高く、次いで「都合があえば参加している」の割合が29.5%、「訓練の実施は知っているが参加していない」の割合が17.0%となっています。



問22 あなたは、災害時要配慮者避難支援制度について知っていますか。(〇は1つ)

「知らない」の割合が 51.1% と最も高く、次いで「聞いたことはあるが内容はよくわからない」の割合が 29.8%、「知っている」の割合が 15.3% となっています。



6 地域福祉の推進について

問 23 地域福祉を充実させていくうえでの、行政と地域住民の関係はどうあるべきだと 思いますか。(〇は1つ)

「行政も住民も協力しあい、福祉課題の解決のために、ともに取り組むべきである」の割合が45.1%と最も高く、次いで「行政の責任はしっかりとはたすべきだが、行政の手が届かない課題は住民も協力すべきである」の割合が30.9%となっています。

■地域福祉を充実させる責任は行政にあるので、住民は特に協力することはない ■ 行政の責任はしつかりとはたすべきだが、行政の手が届かない課題は住民も協力すべきである □ 行政も住民も協力しあい、福祉課題の解決のために、ともに取り組むべきである ■ まず、家庭内や地域の住民同士で助け合い、できない場合のみ行政が援助すべきである □その他 ■ わからない □ 無回答 100% 0% 20% 40% 60% 80% N = 30.9 45.1 8.9 0.8 7.7 4.7 930

問24 福知山市が、誰もが安心して暮らし続けることができるまちとなるためには、次の①~⑩の項目について、どの程度重要だと思いますか。また、あなたは現在の福知山市の状況について、どの程度満足されていますか。あなた自身のお考えにもっともあてはまる箇所を、重要度と満足度からそれぞれ1つずつ選んでください。

【ポートフォリオによる分析の考え方】

満足度と重要度を下表のような配分で点数化し、その点数の合計値を、無回答を除いた各設問の回答総数で割り、満足度・重要度を得点化しました。

さらに、各項目の満足度と重要度の得点の関係について分布図を作成し、ポートフォリオ分析により、今後の方向性を分析しました。

【重要度・満足度の得点化の手順】

重要度	得点
高	2 点
やや高	1 点
やや低	-1 点
低	-2 点
無回答	計算対象外

満足度	得点
高	2 点
やや高	1 点
やや低	-1 点
低	-2 点
無回答	計算対象外

【得点*の算出式】

2 点×「高」の回答数 1 点×「やや高」の回答数 -1 点×「やや低」の回答数 -2 点×「低」の回答数

- これらの数値の和

無回答を除いた設問の回答総数

※得点については、小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。

重要

タイプI

満足度は低いが、重要度が高い

今後の重点課題として検討が必要な施策。

タイプⅡ

満足度は高く、重要度も高い

継続して実施する必要がある施策。

重要度

タイプ皿

満足度が低く、重要度も低い

満足度および重要度が低いため、施 策の実施方法の変更などの検討が 必要な施策。

タイプⅣ

満足度は高いが、重要度が低い

これまでの施策が充実した結果、満 足度が高くなったものが含まれてい ると考えられる施策。ただし、施策 が過剰になっていないか、検討が必 要。

重要で ない

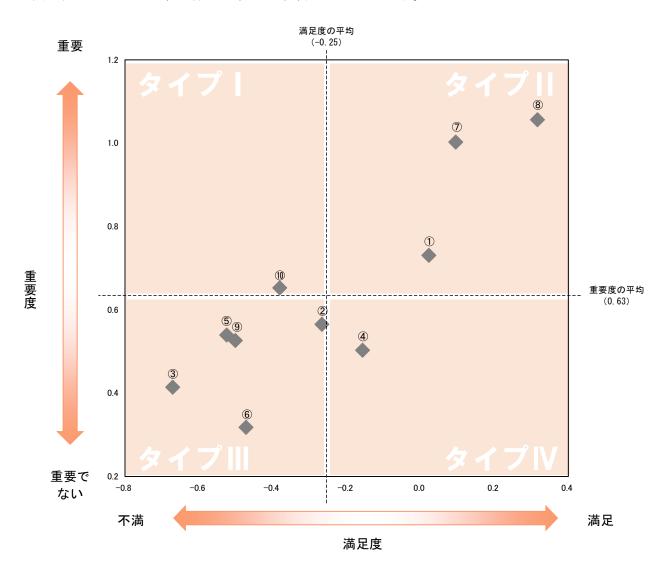
不満

満足

平均値

満足度

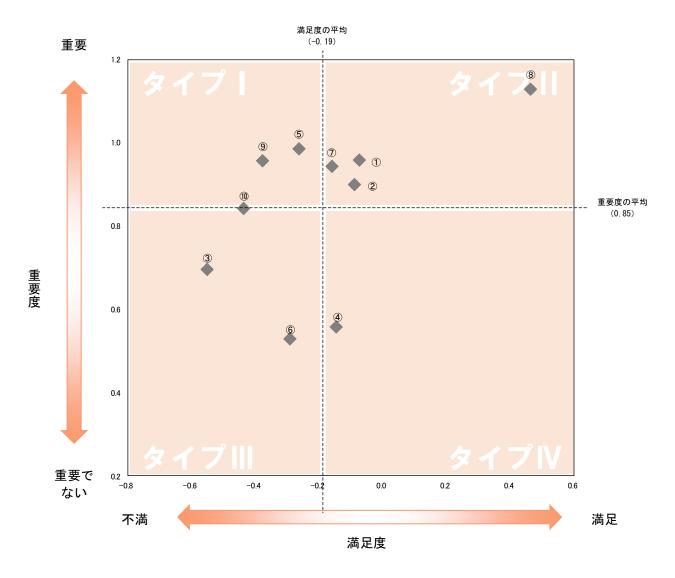
※ポートフォリオとは、各属性についての満足度と総合満足度への影響度を2次元にプロットした図です。それぞれの選択 肢を5段階評価で聞き、X軸に各属性の平均満足度、Y軸に重要度(期待度)として総合満足度と各満足度の偏相関係数 を表しています。なお、図は4象限にわけられ、象限をわける境界線は、満足度、重要度の各平均値を使用しています。 ポートフォリオによる評価については、⑩地域の生活課題への対応が、重要度が高いものの満足度が低くなっており、事業の強化など改善が求められます。



区分	満足度	重要度
①人権意識の醸成	0.02	0.73
②福祉に関する教育の推進	-0.27	0.57
③地域の担い手の育成と発掘	-0.67	0.41
④生きがいづくりと交流の促進	-0.16	0.50
⑤相談・情報提供体制の充実	-0.52	0.54
⑥人権擁護の推進	-0.47	0.32
⑦防災・防犯体制の充実	0.10	1.00
⑧健康づくりの推進と医療体制の充実	0.32	1.06
⑨就労機会の確保	-0.50	0.53
⑩地域の生活課題への対応	-0.38	0.65

① 20 歳代

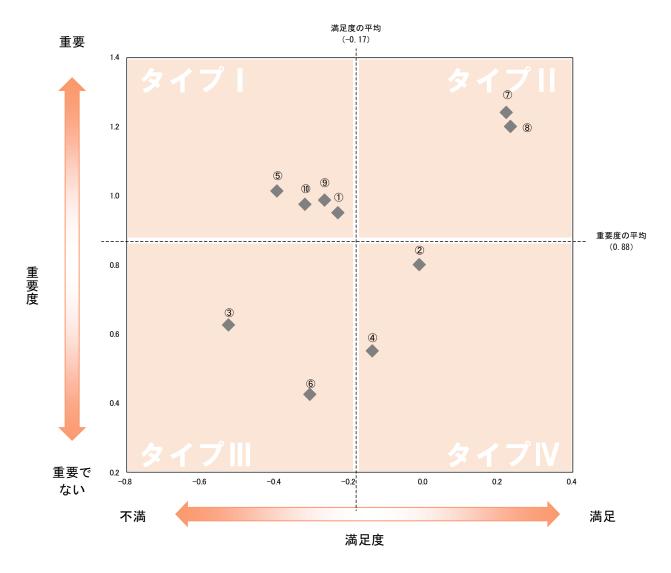
ポートフォリオによる評価については、20歳代では、⑤相談・情報提供体制の充実、⑨就労機 会の確保が、重要度が高いものの満足度が低くなっており、事業の強化など改善が求められます。



区分	満足度	重要度
①人権意識の醸成	-0.07	0.96
②福祉に関する教育の推進	-0.09	0.90
③地域の担い手の育成と発掘	-0.55	0.70
④生きがいづくりと交流の促進	-0.14	0.56
⑤相談・情報提供体制の充実	-0.26	0.99
⑥人権擁護の推進	-0.29	0.53
⑦防災・防犯体制の充実	-0.16	0.94
⑧健康づくりの推進と医療体制の充実	0.46	1.13
⑨就労機会の確保	-0.38	0.96
⑩地域の生活課題への対応	-0.43	0.84

② 30 歳代

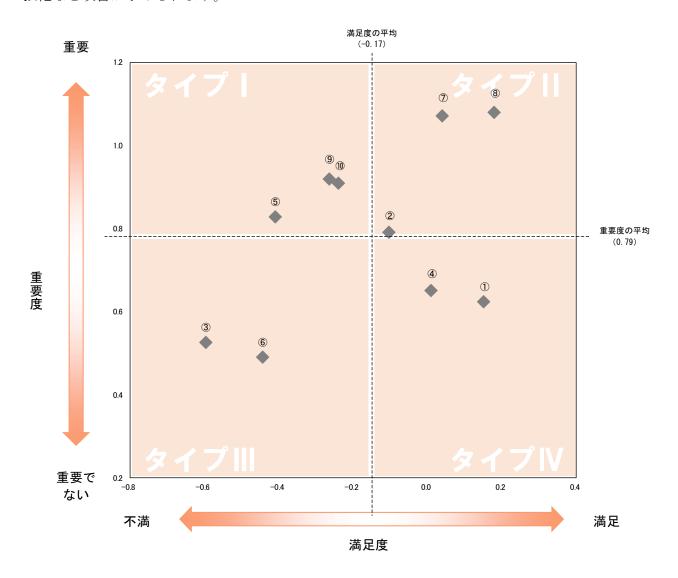
ポートフォリオによる評価については、30歳代では、①人権意識の醸成、⑤相談・情報提供体制の充実、⑨就労機会の確保、⑩地域の生活課題への対応が、重要度が高いものの満足度が低くなっており、事業の強化など改善が求められます。



区分	満足度	重要度
①人権意識の醸成	-0.23	0.95
②福祉に関する教育の推進	-0.01	0.80
③地域の担い手の育成と発掘	-0.53	0.63
④生きがいづくりと交流の促進	-0.14	0.55
⑤相談・情報提供体制の充実	-0.39	1.01
⑥人権擁護の推進	-0.31	0.43
⑦防災・防犯体制の充実	0.22	1.24
⑧健康づくりの推進と医療体制の充実	0.23	1.20
⑨就労機会の確保	-0.27	0.99
⑩地域の生活課題への対応	-0.32	0.98

③ 40 歳代

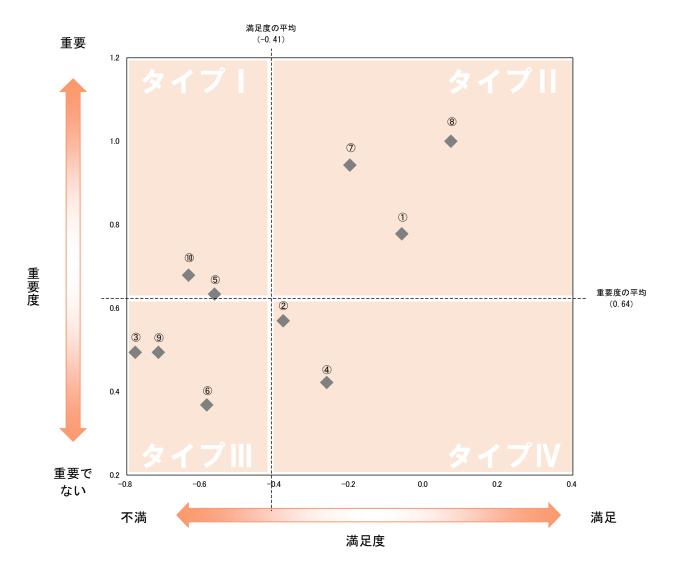
ポートフォリオによる評価については、40歳代では、⑤相談・情報提供体制の充実、⑨就労機会の確保、⑩地域の生活課題への対応が、重要度が高いものの満足度が低くなっており、事業の強化など改善が求められます。



区分	満足度	重要度
①人権意識の醸成	0.15	0.62
②福祉に関する教育の推進	-0.10	0.79
③地域の担い手の育成と発掘	-0.60	0.52
④生きがいづくりと交流の促進	0.01	0.65
⑤相談・情報提供体制の充実	-0.41	0.83
⑥人権擁護の推進	-0.44	0.49
⑦防災・防犯体制の充実	0.04	1.07
⑧健康づくりの推進と医療体制の充実	0.18	1.08
⑨就労機会の確保	-0.26	0.92
⑩地域の生活課題への対応	-0.24	0.91

④ 50 歳代

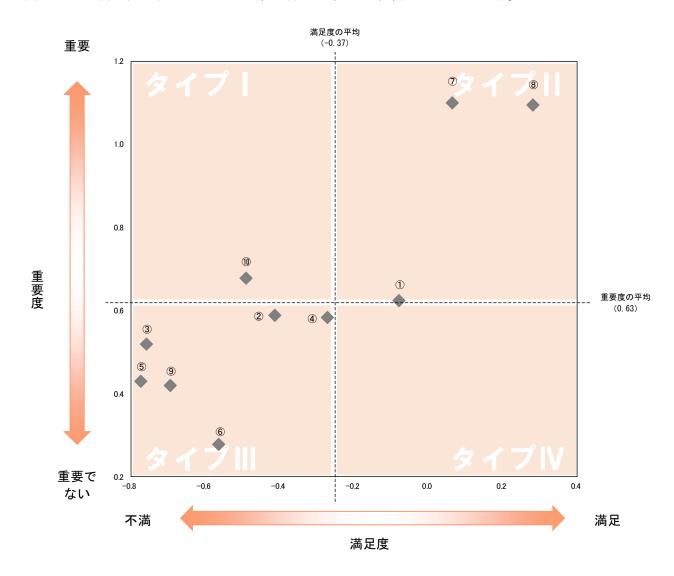
ポートフォリオによる評価については、50歳代では、⑤相談・情報提供体制の充実、⑩地域の 生活課題への対応が、重要度が高いものの満足度が低くなっており、事業の強化など改善が求め られます。



区分	満足度	重要度
①人権意識の醸成	-0.06	0.78
②福祉に関する教育の推進	-0.38	0.57
③地域の担い手の育成と発掘	-0.78	0.49
④生きがいづくりと交流の促進	-0.26	0.42
⑤相談・情報提供体制の充実	-0.56	0.63
⑥人権擁護の推進	-0.58	0.37
⑦防災・防犯体制の充実	-0.20	0.94
⑧健康づくりの推進と医療体制の充実	0.07	1.00
⑨就労機会の確保	-0.71	0.49
⑩地域の生活課題への対応	-0.63	0.68

⑤ 60 歳代

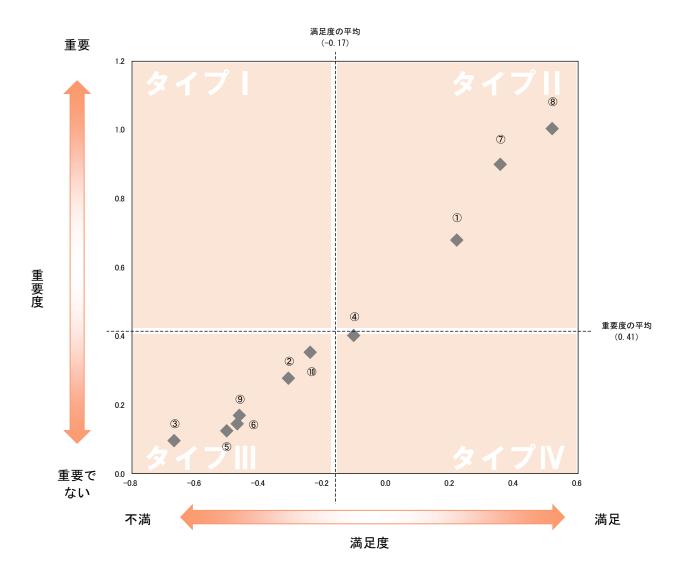
ポートフォリオによる評価については、60歳代では、⑩地域の生活課題への対応が、重要度が高いものの満足度が低くなっており、事業の強化など改善が求められます。



区分	満足度	重要度
①人権意識の醸成	-0.08	0.62
②福祉に関する教育の推進	-0.41	0.59
③地域の担い手の育成と発掘	-0.76	0.52
④生きがいづくりと交流の促進	-0.27	0.58
⑤相談・情報提供体制の充実	-0.77	0.43
⑥人権擁護の推進	-0.56	0.28
⑦防災・防犯体制の充実	0.06	1.10
⑧健康づくりの推進と医療体制の充実	0.28	1.09
③就労機会の確保	-0.69	0.42
⑩地域の生活課題への対応	-0.49	0.68

⑥ 70 歳以上

ポートフォリオによる評価については 70 歳以上では、重要度が高いものの満足度が低くなっている項目はありません。



区分	満足度	重要度
①人権意識の醸成	0.22	0.68
②福祉に関する教育の推進	-0.31	0.28
③地域の担い手の育成と発掘	-0.67	0.10
④生きがいづくりと交流の促進	-0.10	0.40
⑤相談・情報提供体制の充実	-0.50	0.13
⑥人権擁護の推進	-0.47	0.14
⑦防災・防犯体制の充実	0.36	0.90
⑧健康づくりの推進と医療体制の充実	0.52	1.00
⑨就労機会の確保	-0.46	0.17
⑩地域の生活課題への対応	-0.24	0.35

Ⅲ 参考資料

1 アンケート調査用紙

福知山市の地域福祉に関するアンケート調査 ご協力のお願い

市民の皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。 福知山市では、今年度、来年度で「第3次福知山市地域福祉計画」の策定に取り組んでいます。 地域福祉とは、地域の人と人とのつながり(絆)を大切にし、お互いに助けたり助けられたり する関係や、地域のさまざまな生活課題を解決するために行政と市民が一緒に地域づくりを進め ていく取組のことです。

このアンケート調査は、第3次地域福祉計画の策定に先立ち、市民の皆様に地域福祉について、日常生活の現状や意識、福祉サービスや地域づくりに関するご意見などをお聞きし、計画策定の基礎資料として使わせていただくために実施します。

この調査では、平成 29 年 1 月 1 日現在で、本市在住の 20 歳以上の方の中から年代別に無作為に合計 2,000 人を選ばせていただきました。調査でご記入いただいた内容は、すべて統計的に処理いたしますので、個々の回答内容を公表したり、調査目的以外に使用することはございません。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成 29 年 1 月

福知山市長 大橋 一夫

【ご記入に当たってのお願い】

◇調査票の記入について

- ・この調査は封筒の宛名のご本人が対象となります。
- ・なんらかの事情でご本人が記入できない場合は、ご家族の方などに代筆していただくか、ご本人の意思を尊重して代わってご回答していただく方にお願いいたします。
- 平成29年1月1日現在の内容でご記入ください。
- ・設問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に〇をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、()内に具体的にご記入ください。
- ・設問によって、〇をつけていただく数を()内に指定していますので、ご注意ください。

◇調査票の回収について

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、<u>2月6日(月)</u>までに 郵送してくださいますようお願いいたします。(切手は不要です)

◇調査についてのご質問などは、下記までお問い合わせください。

福知山市役所 福祉保健部 地域福祉課

電 話:0773-24-7088

◎地域福祉とは

制度によるサービスを利用するだけでなく、地域の人と人とのつながり(絆)を大切にし、お互いに助けたり助けられたりする関係やその仕組みをつくり、地域における様々な生活課題を解決するため、「自助・共助・公助」が機能する市民協働型の地域づくりを進めることです。

1	あなた自身のことについておうかっ	がしい	します
F 1	あなたの性別はどちらですか。(〇は <u>1</u>	<u>つ</u>)	
		2.	女性
F 2	あなたの年齢はおいくつですか。(Oは	1つ)
	1. 20 歳代	2.	30 歳代
	3.40 歳代	4.	50 歳代
	5.60 歳代	6.	70 歳以上
F 3	あなたの世帯構成は次のうちどれですか	n _o (Oは <u>1つ</u>)
		2.	夫婦のみの世帯
	3. 二世代世帯(親と子)	4.	三世代世帯(親と子と孫)
	5. その他()
F_4	あなたの職業は次のうちどれですか。(Oは	<u>1つ</u>)
	1. 農林水産業・商工業・専門職等の自営	業	
	2. 常勤の勤め人		
	3. パート・アルバイト・臨時の勤め人		
	4. 専業主婦(夫)		
	5. 自由業(画家・作家など)		
	6. 学生		
	7. 無職		
	8. その他()
F 5	あなたの福知山市(旧三和町、旧夜久野 ですか。(〇は <u>1つ</u>)	明、	旧大江町を含む)での居住年数はどのくらい
	1. 5年未満	2.	5~10年未満
	3. 10~15 年未満	4.	15~20 年未満
	5.20年以上		

F 6 あなたの居住地区はどちらですか。(Oは1つ)

1. 惇明地区	2. 昭和地区	3. 大正地区	4. 雀部地区
5. 遷喬地区	6. 成仁地区	7. 庵我地区	8. 下豊富地区
9. 下川口地区	10. 上豊富地区	11. 上六人部地区	12. 中六人部地区
13. 下六人部地区	14. 上川口地区	15. 金谷地区	16. 三岳地区
17. 金山地区	18. 雲原地区	19. 佐賀地区	20. 菟原地区
21. 細見地区	22. 川合地区	23. 下夜久野地区	24. 中夜久野地区
25. 上夜久野地区	26. 美河地区	27. 美鈴地区	28. 有仁地区

F7 あなたは自治会に加入していますか。(Oは1つ)

- 1. 加入している 2. 加入していない 3. わからない
- 2 お住いの地域についておうかがいします

問1 あなたと隣近所とのつきあいはどの程度ですか。(Oは<u>1つ</u>)

- 1. 日ごろからすぐ助け合える関係
- 2. お互いに訪問しあう関係
- 3. 立ち話をする程度
- 4. あいさつをする程度
- 5. ほとんどつきあいはない

問2 住みよいまちづくりに向けて、あなたはどの程度の近所づきあいが必要だと思いますか。 (Oは<u>1つ</u>)

- 1. 日ごろからすぐ助け合える関係
- 2. お互いに訪問しあう関係
- 3. 立ち話をする程度
- 4. あいさつをする程度
- 5. つきあいは必要ない

問3 現在お住まいの地区に愛着や誇りを感じていますか。(Oは1つ)

1. とても感じている

2. ある程度感じている

3. あまり感じていない

4. まったく感じていない

問4 地域で活動を行う組織・団体に加入していますか。(〇は1つ)

2. いいえ → 問4-2へ

問4で「1.はい」と回答した方におうかがいします。

問4-1 加入している組織・団体は何ですか。(**該当するものすべて**に〇)

- 1. 子ども会 2. PTA
- 3. 消防団

- 4. 各種サークル 5. ボランティア団体 6. 老人クラブ

)

)

- 7. 婦人会 8. その他(

問4で「2.いいえ」と回答した方におうかがいします。

問4-2 加入していない理由は何ですか。(**該当するものすべて**に〇)

1. 時間的な余裕がない

2. 体調不良のため

- 3. 精神的な余裕がない
- 4. あまり人と関わりたくない
- 5. すでに参加している人を見ると大変そうだから
- 6. その他(

問5 地域で行う行事や、組織・団体の活動には、どの程度参加したいですか。(〇は1つ)

- 1. 企画や運営などに積極的に参加したい
- 2. 企画や運営に熱心な人の手伝いとして参加したい
- 3. 企画や運営ではないが参加したい
- 4. 時間に余裕があるときだけ参加したい
- 5. あまり参加したくない
- 6. 全く参加したくない
- 7. わからない

自分たちの生活に関わる地域の問題に、あなた自身はどの程度関わるべきだと思いますか。 問 6 (0は1つ)

- 1. 自分の住む地域のことなので、積極的に関わりたい
- 2. 熱心に取り組んでいる人のお手伝いはしたい
- 3.住民の力では解決できないので、行政(市、府、国)に任せるべき
- 4. 関わりたくない
- 5. わからない

地域での助け合いについておうかがいします

問フ あなたは、地域で困っている人がいた場合に、手助けや助け合いをすることができますか。 (Oは1つ)

1. できる

2. できない : ──── 問7-1へ

問7で「2.できない」と回答した方におうかがいします。

問7-1 地域での手助けや助け合いができない理由は何ですか。(Oは3つまで)

- 1. 家族の協力・理解が得られないから
- 2. 仕事や家事・育児などで時間がないから
- 3. 体力的に自信がないから
- 4. 人間関係が難しそうだから
- 5. どのように手助けすればよいかわからないから
- 6. 関わりたくないから
- 7. その他(

)

- 問 8 あなたは生活上の心配事や困り事について助言や手助けが欲しいときに誰に相談してい ますか。(Oは3つまで)
 - 1. 家族や親族
 - 3. 同じ悩みや問題を持つ仲間 4. 自治会や近所の住民
 - 5. 市や地域包括支援センター等の行政機関 6. 市や3町の社会福祉協議会
 - 7. 民生委員・児童委員
 - 9. ボランティア団体やNPO団体
 - 11. 相談できる人がいない
 - 12. その他(

- 2. 友人や知人

- 8. 地元の民間福祉団体
- 10. 誰にも相談しない

問9 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。(Oは1つ)

1. ある → 問9-1、問9-2へ 2. ない

問9で「1. ある」と回答した方におうかがいします。

問9-1 どのようなことが動機でしたか。(**該当するものすべて**に〇)

- 1. 地域社会をよくしたい
- 2. 困っている人を助けたい
- 3. 自分のやりたいことを発見したい
- 4. 自分の技術、能力、経験を活かしたい
- 5. あたらしい人と出会いたい
- 6. 何か新しく感動できる体験をしたい
- 7. 自分の健康を維持していきたい
- 8. その他(

問9-2 現在活動している、もしくは以前に活動したことのあるボランティアはどのような 内容でしたか。 (該当するものすべてに〇)

- 1. 高齢者支援に関する活動
- 3. 子育て支援や母子福祉に関する活動 4. 健康づくり・医療に関する活動
- 5. 地域の清掃・美化に関する活動
- 7. 防犯・交通安全に関する活動
- 9. 自然環境保護に関する活動
- 13. 国際交流・国際協力に関する活動
- 15. 人権・平和・女性問題に関する活動
- 16. その他(

- 2. 障害者支援に関する活動
- 6. 街の活性化等に関する活動
- 8. 消防・防災・災害支援に関する活動
 - 10. 各種スポーツ指導に関する活動
- 11. 青少年育成・支援に関する活動 12. 芸術・文化振興や伝統継承に関する活動
 - 14. 消費者問題に関する活動

問 10 あなたは今後ボランティア活動や助け合い活動に参加したいと思いますか。

(Oは<u>1つ</u>)

)

- 1. ぜひ参加したい
- 3. 誘いやきっかけがあれば参加したい
- 5. 参加したくない

- 2. 仲間がいれば参加したい
- 4. あまり参加したいとは思わない
- 6. わからない

問 11 ボランティア活動や助け合い活動で参加したい活動はありますか。

(該当するものすべてに○)

- 1. 高齢者支援に関する活動
- 3. 子育て支援や母子福祉に関する活動 4. 健康づくり・医療に関する活動
- 5. 地域の清掃・美化に関する活動
- 7. 防犯・交通安全に関する活動
- 9. 自然環境保護に関する活動
- 13. 国際交流・国際協力に関する活動 14. 消費者問題に関する活動
- 15. 人権・平和・女性問題に関する活動
- 16. その他(

- 2. 障害者支援に関する活動
- 6. 街の活性化等に関する活動
- 8. 消防・防災・災害支援に関する活動
- 10. 各種スポーツ指導に関する活動
- 11. 青少年育成・支援に関する活動 12. 芸術・文化振興や伝統継承に関する活動

)

問 12 たくさんの人にボランティア活動や助け合い活動に参加してもらうためには、どのよう なことが必要だと思いますか。(Oは3つまで)

- 1. 活動自体を楽しく、興味のある内容にする
- 2. 活動した分の見返りがもらえるしくみをつくる
- 3. 長く活動できるためのしくみをつくる
- 4. 人のために働く「奉什の小」の大切さを広く知らせる
- 5. 活動時間をできるだけ自由にする
- 6. 活動を始めるきっかけをたくさん用意する
- 7. その他(

- 8. わからない
- 地域福祉を支える組織や制度についておうかがいします

問 13 福知山市社会福祉協議会をご存知ですか。(〇は<u>1つ</u>)

- 1. 名前も活動内容も知っている
- 2. 名前は聞いたことはあるが活動内容はよくわからない
- 3. 名前も活動内容も知らない

問 14 あなたがお住まいの地域の民生委員·児童委員をご存知ですか。(〇は 1つ)

- 1. 地域の担当者も活動内容も知っている
- 2. 地域の担当者は知っているが活動内容はよくわからない
- 3. 活動内容は知っているが地域の担当者は知らない
- 4. 地域の担当者も活動内容も知らない

問 15 生活困窮者自立支援法(制度)(※)について、どの程度知っていますか。(〇は 1つ)

- 1. 聞いたことがあり、内容も知っている
- 2. 聞いたことはあるが内容はよくわからない
- 3. 知らない

◎生活困窮者自立支援制度とは

平成27年4月1日に、経済的な困窮状態にある人が困窮状態から早期に脱却することを支援す るための新たな法律(生活困窮者自立支援法)が施行され、生活保護に至る前の早い段階から相談支 援員が社会的・経済的自立に向けて寄り添いながら支援を行う制度。

本市では、福祉保健部社会福祉課に窓口を設置しています。

災害についておうかがいします 5

- 問 16 平成 25 年台風 18 号、平成 26 年 8 月豪雨災害において、本市では甚大な被害を受けまし たが、水害などの災害に備えて日ごろの生活の中で心がけたり、実施していることはあ りますか。(**該当するものすべて**に〇)
 - 1. 避難方法を確認しておくこと
 - 2. 家族間での連絡方法を確認しておくこと
 - 3. ご近所同士で助け合える関係を構築しておくこと
 - 4. 地域の防災訓練に参加すること
 - 5. 地域の要配慮者(※)を把握し、共有しておくこと
 - 6. 防災・減災に関する知識を取得しておくこと
 - 7. 食料、飲料水等の非常持出品を準備しておくこと
 - 8. その他(
 - 9. 特にない

◎要配慮者とは

自らを守るために安全な場所に避難するなどの災害時の一連の行動をとる時に、支援を要する 人々のこと(高齢者、障害のある人、外国人、乳幼児、妊婦など)

- 問 17 平成 25 年台風 18 号、平成 26 年 8 月豪雨災害の当時やそれ以降、大雨時や台風接近時な ど、どのような手段で避難情報等を知りましたか。(**該当するものすべて**に〇)

 - 1. 家族や親族からの連絡 2. 自治会長や民生児童委員による訪問・連絡

 - 3. 消防団などの広報車 4. 防災行政無線(屋外スピーカー、戸別受信機)

)

- 5. 防災·安全メール(登録制) 6. テレビ放送
- 7. 気象庁ホームページなどインターネット
- 8. 京都 FM 丹波(79.0MHz) 9. 福知山市のホームページ
- 10. スマホアプリ LINE
- 11. 緊急速報メール
- 12. 特に情報収集していない 13. その他(

問 18 災害が起こった時に特に不安に思うことはどれですか。(Oは 1 つ)

- 1. 災害が迫っているときの適切な情報 2. 災害時に安否確認や避難支援に来てくれる人の有無 3. 自宅に災害が迫っているときの避難場所 4. 災害時の炊き出しや後片付け、その他助け合いの活動など 5. 災害後の生活の再建・被害の補てん
- 問 19 あなたの住む地域における災害時の備えとして、どのようなことが重要だと思いますか。 (Oは3つまで)
 - 1. 日ごろからのあいさつ、声かけやつきあい 2. 危険箇所の把握
- - 3. 地域での避難訓練・防災学習会
- 4. 地域における支援体制の構築

)

)

5. 地域の要配慮者の把握

6. 要配慮者への情報の伝達方法

- 7. 災害ボランティアの育成
- 8. 要配慮者向けの避難施設(車椅子対応トイレがある、乳幼児対応設備があるなど)の確保
- 9. その他()
- 問 20 災害が起きた時、あなたは誰を頼りにしますか。(〇は**3つまで**)
 - 1. 家族•親族

6. その他(

2. 近所の人

3. 友人 • 知人

4. 自治会・自主防災組織・消防団

5. 社会福祉協議会

- 6. 民生委員・児童委員
- 7. 行政(市役所・消防・警察など) 8. その他(

- 9. 頼りにする人がいない
- 問 21 あなたは、日頃から地域の防災訓練等に参加していますか。(Oは 1 つ)
 - 1. 参加している

- 2. 都合があえば参加している
- 3. 訓練の実施は知っているが参加していない 4. 訓練の実施を知らない

5. 防災訓練が行われていない

問 22 あなたは、災害時要配慮者避難支援制度(※)について知っていますか。(〇は<u>1つ</u>)

1. 知っている

2. 聞いたことはあるが内容はよくわからない

3. 知らない

◎災害時要配慮者避難支援制度とは

高齢者や障害のある人など、災害時に避難支援を必要とする災害時要配慮者に対して、ご近所の 方をはじめ、自治会、民生児童委員、自主防災組織など、地域の皆さんが連携し、地域の取り組み で支援する仕組みです。

事前に災害時要配慮者の同意を得て、自治会、民生児童委員、自主防災組織など地域で情報を共有することで、日ごろの見守りや災害時の避難支援に役立てます。

本市では、福祉保健部地域福祉課が業務を担当しています。

5 地域福祉の推進についておうかがいします

- 問 23 地域福祉を充実させていくうえでの、行政と地域住民の関係はどうあるべきだと思いますか。(〇は1つ)
 - 1. 地域福祉を充実させる責任は行政にあるので、住民は特に協力することはない
 - 2. 行政の責任はしっかりとはたすべきだが、行政の手が届かない課題は住民も協力すべきである
 - 3. 行政も住民も協力しあい、福祉課題の解決のために、ともに取り組むべきである
 - 4. まず、家庭内や地域の住民同士で助け合い、できない場合のみ行政が援助すべきである
 - 5. その他()
 - 6. わからない

問 24 福知山市が、誰もが安心して暮らし続けることができるまちとなるためには、次の①~ ⑩の項目について、どの程度重要だと思いますか。また、あなたは現在の福知山市の状況について、どの程度満足されていますか。あなた自身のお考えにもっともあてはまる箇所を、重要度と満足度からそれぞれ1つずつ選んでください。

【地域福祉の取り組み】

	重要度 (<u>それぞれOは1つ</u>)			満足度 (<u>それぞれOは1つ</u>)				
	1	2	3	4	1	2	3	4
	高	かか 高	やや 低	低	高	かか 高	やや 低	低
(記入例) 000000	\odot	•	•	•	\odot	•	•	•
①人権意識の醸成 (差別や偏見をなくすための取組)	•				—			•
②福祉に関する教育の推進 (道徳授業や地域での福祉講座の開催)				_				_
③地域の担い手の育成と発掘 (ボランティアの発掘・育成など)	•	•	•	•	•	•	•	•
④生きがいづくりと交流の促進 (ふれあいサロンなどの居場所づくり や、地域行事の実施による住民の交流)	•			•	•	•		•
⑤相談・情報提供体制の充実 (支援者や行政との関係づくり、情報の 入手のしやすさ)	•	•		•	•	•	•	•
⑥人権擁護の推進 (権利擁護、成年後見制度(※)など)	•	•	•	•	•	•	•	•
⑦防災・防犯体制の充実 (防災訓練への参加や、悪質商法への注 意喚起)	•	•		•	•	•		•
⑧健康づくりの推進と医療体制の充実 (健康診査の受診、保健・医療・福祉の 連携)	•			—	•	•		•
⑨就労機会の確保 (高齢者、ひとり親、障害のある人など の就労ニーズへの対応)	•			_	•			
⑩地域の生活課題への対応 (ゴミ捨てや買物弱者への支援など)				-		-		•

◎権利擁護とは

自分の権利を表明することが困難な寝たきりの高齢者や、認知症の高齢者、障害のある人の権利 や要求の表明を支援し、代弁する取組。

◎成年後見制度とは

知的障害、精神障害、認知症などにより不利益を被らないように家庭裁判所に申し立てをして、その人を援助してくれる後見人を付けてもらう制度。

©	地域における健康づくりや高齢者、子ども、障害のある方への支援など、市民のみなさんが 支え合いながら、安心して暮らしていくためのまちづくりについて、ご意見やご要望、アイ デアなどがありましたら、自由にお書きください。								

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

2 福知山市地域祉計画策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 社会福祉法(昭和26年法律第45号)107条の規定及び京都府地域福祉支援計画に基づき、本市における市民・地域団体・行政等が一体となつて実現すべき目的と取り組み方策を明らかにする福知山市地域福祉計画(以下「計画」という)を策定するため、計画を立案する組織として福知山市地域福祉計画策定委員会(以下「委員会」という)を設置する。

(組織)

- 第2条 委員会は、30名以内の委員をもつて組織する。
- 2 委員は、福知山市に在住、在勤又は在学している者の中から市長が委嘱する。ただし、市長が必要と認める場合は、この限りではない。
- 3 前項において在学している者とは、学校教育法に定める高等学校、中等教育学校後期課程、 大学、高等専門学校及び専修学校に在学している者をいう。

(任期)

第3条 委員の任期は、委嘱の日から2年間とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の 委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

- 第4条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によつてこれを定める。
- 2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 会議は必要に応じて委員長が招集し、会議を進行する。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、福祉保健部地域福祉課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は事務局が別に定める。

附則

- この要綱は、平成24年7月1日から施行する。
- この要綱の施行後最初の委員会の招集は、第5条の規定にかかわらず、市長が行う。
- この要綱は、平成28年12月1日から施行する。

3 福知山市地域福祉計画策定委員会委員名簿

No	氏名	所属	備考
1	足立 喜代美	NPO 法人おひさまと風の子サロン	
2	足立 惠子	福知山市男女共同参画審議会	
3	荒木 智子	福知山ボランティア連絡協議会	
4	大江 喜次	金谷地区福祉推進協議会	
5	大槻 昭則	三和地域協議会	
6	岡本 悦司	公立大学法人 福知山公立大学	委員長
7	長田研司	京都府中丹西保健所	
8	香月 芳雄	福知山市老人クラブ連合会	
9	衣川 裕次	夜久野みらいまちづくり協議会	
10	小西 春奈	市民一般公募	
11	新宮 七郎	大江まちづくり住民協議会	
12	関 三千彦	福知山市民生児童委員連盟	
13	高橋 香壽美	福知山市精神障害者家族会	
14	田中愛子	福知山障害児(者)親の会	
15	田村 敏明	福知山市身体障害者団体連合会	副委員長
16	土田康輔	福知山市自治会長運営委員連絡協議会	
17	寺川 澄	市民一般公募	
18	中村 洋子	市民一般公募	
19	西垣 哲哉	一般社団法人 福知山医師会	
20	松田 規	社会福祉法人 福知山市社会福祉協議会	副委員長
21	森田雅子	福知山市連合婦人会	
22	家谷 妙子	一般社団法人 福知山民間社会福祉施設連絡協議会	
23	山口 幸子	福知山市保育協会	
24	山本 正一	部落解放同盟京都府連合会福知山地区協議会	